



学校だより
第8号



静修



令和3年10月22日

学校教育目標「ふるさとを愛し、自立して仲間とともに生きる「静修」の子の育成」

いえどく 家読の秋！

朝夕がめっきり涼しくなり、爽やかで心地よい季節となりました。スポーツの秋、読書の秋、文化の秋、子どもたちには、この気持ちのよい秋に、いろいろなことにチャレンジし、時間を忘れるぐらい、夢中になれるものを見つけてほしいと思います。

全校朝会では、特に家での読書を勧めました。学校では子どもたちの読書する姿をよく見るのですが、家ではあまり時間が取れていないようです。(アンケート結果)

コロナ禍で外出する機会が少なくなってきた中、ゲームやYouTubeなど誘惑はいっぱいありますが、せっかく時間に余裕があるのだから読書の時間を作ってはどうでしょうか。最初は30分からスタートしてみましょ。読みだすと結構続きが楽しみになるものです。また、一人ではなかなか継続できません。この秋は、家族の方にも協力してもらい、家読の時間を作って、静かに全員で本の世界に浸るのもよいのではないのでしょうか。

静修 NOW(1)

健康ウォークラリー

9月24日

保健体育委員会主催の「健康ウォークラリーオリンピック」が行われました。



今回はオリンピックにちなんだコーナーを7か所設け、花ランドチームのペアで回るというものでした。今年パラリンピックで話題になったボッチャまで登場し、どのコーナーも頭の力、体力、瞬発力等が必要で、いろいろ工夫されたとても楽しい企画となりました。

芋ほり

9月24日

1, 2年生が生活科で植えていた芋がほど良く成長したため、全員で芋ほりに挑戦しました。プール奥の



畑に植えていたため、春に植えて、水やりを数週間続けて以来、久しぶりの畑でみんなドキドキワクワクしながら向かいました。

つるを引っ張ってみると、出てくる出てくる・・・大きいのも小さいのも・・・大収穫にみんな大満足でした。

静修 NOW(2)

教育実習終了

9月29日

教育実習生の佐々木先生の授業研究がありました。運動会を含めほぼ1か月お世話になりました。その最終段階ということで「健康について考える」をテーマに行いました。6年生も意欲的に授業に参加し、自分自身を振り返るとても良い時間となりました。



花ランド誕生集会

9月30日

後期の花ランド誕生集会を行いました。新しいチームとなり、リーダーを中心にみんなやる気満々です。

静修小学校のすべての学校生活の基盤となる花ランドチーム。後期もよろしくお祈りします。



日高東中学へ授業・部活見学

10月7日

6年生が日高東中学校へ授業・部活見学に行きました。昨年はコロナ禍で中止となったため2年ぶりの見学となりました。6年生にとっては近くにある学校なのに行く機会がなかなかなくて、授業も部活もとても新鮮に映ったようです。

生徒会の皆さんによる学校紹介や部活の案内の仕方がとても素晴らしく、入学するのが楽しみになってきました。11月には授業・部活体験も予定しています。



児童会引継ぎ式

10月12日

児童会引継ぎ式を行いました。前期から後期へ、委員会を含めてバトンタッチです。

新児童会長、各委員会委員長の力強いあいさつの下、後期児童会活動がスタートしました。



メモリアルデー

10月14日

2004年に但馬に大きな被害をもたらした、台風23号についてのメモリアルデーをもちました。

災害はいつ襲ってくるかわかりません。過去の教訓からしっかり学び「自分の命は自分で守る」ことを第一に、全校生で確認しました。



■全国学力・学習状況調査の結果について

令和3年5月27日実施

昨年度は、コロナ禍で実施されなかった全国学力・学習状況調査を2年ぶりに行いました。本校は、国語も算数も全国と比較するとやや平均を上回っているという結果でした。また、全国的に記述式の回答で無回答率の増えている中、本校の無回答率が低かったことは良い傾向だと思います。今回の結果を分析・検討し、個々の力が向上するよう課題と改善に向けた今後の取り組みを報告します。

	分析内容	今後の取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○目的や意図に応じて、資料と文章を重ね合わせて、読み取ることができる。 ○語句の使い方を理解し、話や文章の中で正しく使うことができる ▲文章と図表を読み取り、条件に合わせて文章を書くことが難しい。 ▲文章全体の構成を捉えることが難しく、主張と事例を的確に読み取れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆読解力を確実に身に付けさせるために、朝読書や家庭読書を充実させるとともに、新聞等を活用し、必要な情報を読み取る力をつけるために家庭との連携を図る。 ◆日常の作文指導の中で、はじめ・中・終わり、問い・事例、意見など相手に伝わるように文章構成を考えて書く機会を作り、習慣として身に付けさせる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的な計算や公式の活用、グラフの読み取りなどの基本的な力がついてきている。 ▲文章を伴う問題が多く、問題の意味をつかむのに戸惑い、計算力があっても解けていない傾向が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習に対する個別のつまづきを把握し、基礎基本の定着を図るため、反復練習を継続する。 ◆文章問題を積極的に取り入れ、図や式、グラフを活用しながら、問題のイメージを捉える練習を重ねる。
児童 質 問 紙	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分には良い所がある」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたいと思っている」と答えている児童の割合が高く、「きまりを守っている」「いじめはどんなことがあってもいけないこと」等規範意識も高い。 ○「自分の思っていることや感じていることをきちんと表すことができる。」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と答えている児童の割合が高い。 ▲「算数の勉強は好き」が88%に対し、「国語の勉強は好き」は50%に留まっている。 ▲「学校の授業時間以外で1日どのくらい読書しますか」については、半数が「10分以上30分以下」と少なく、全く読書をしないという児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆今後も児童会活動、縦割り活動を行う中で、目的を意識させ、過程を大切にできるよう、支援していく。そして、認め合う場の設定や、適切な声掛けを行い、達成感や自己有用感を味わわせる機会を増やしていく。 ◆コロナ禍ではあるが、目的に応じて、ペア学習やグループ学習など話し合いの場を工夫していく。「くらべながら聞く」「理由をつけて話す」などのスキルを全学年で共有し、対話を通して自分の考えを深めていく授業改善を行っていく。 ◆お勧め本の紹介、児童による読み聞かせ、ポスターや放送による呼びかけ等、図書委員会の活動のさらなる活性化を図る。また、保護者との連携を強化し、各家庭での読書時間の確保と習慣化を図る。

このような状況を踏まえ、当該学年だけでなく全学年で課題を共有し、学力の向上や基本的な生活習慣の確立に向け、全教職員で教育活動に取り組んでいきます。読書活動の推進につきましてはご家庭との連携がさらに必要になると思います。今後ともご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。